

予算説明資料

令和5年度1月補正予算

倉吉市

目次

1	会計別一覧表.....	1
2	基金の状況.....	2
3	全事業.....	3
4	主な事業.....	7
5	債務負担行為資料.....	10

令和5年度 1月補正予算 会計別一覧表

(単位：千円)

区 分	補正前の額	補正額	計
一 般 会 計	35,149,865	273,902	35,423,767
特 別 会 計 小 計	11,409,305	0	11,409,305
企 業 会 計 小 計	6,197,505	0	6,197,505
合 計	52,756,675	273,902	53,030,577

基金の状況【令和5年度1月補正後】

(単位：千円)

区 分	令和4年度末 現 在 高 A	令和5年度		令和5年度末 見 込 額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
文 化 基 金	3,445	2		3,447	
博 物 館 資 料 整 備 基 金	4,422	2		4,424	
緑を守り育てる基金	21,908	2	1,471	20,439	
職 員 退 職 手 当 基 金	245,187	5		245,192	
公 共 施 設 等 建 設 基 金	27,311	1		27,312	
教 育 振 興 基 金	178,839	555	1,477	177,917	
ふるさと農村活性化基金	17,974	1		17,975	
若者の定住化促進基金	574,025	265	61,700	512,590	
遥かなまち倉吉ふるさと基金	1,634	2		1,636	
企 業 立 地 推 進 基 金	51,652	2		51,654	
地 域 産 業 振 興 基 金	62,307	3		62,310	
倉吉ふるさと未来づくり基金	715,896	635,615	756,762	594,749	
三 松 奨 学 育 英 基 金	36,565	5,526	4,256	37,835	
森 林 環 境 整 備 基 金	42,349	35,699	49,130	28,918	
地方創生臨時交付金基金	50,398	2	38,000	12,400	
財 政 調 整 基 金	2,364,464	445,177	1,542,046	1,267,595	取崩 83,234千円
減 債 基 金	1,375,899	28	404,592	971,335	
計	5,774,275	1,122,887	2,859,434	4,037,728	

(単位：千円)

区 分	令和4年度末 現 在 高 A	令和5年度		令和5年度末 見 込 額 A+B-C	補正時における 増減
		積立見込額 B	取崩見込額 C		
国民健康保険財政調整基金	744,788	42,461	229,000	558,249	
介護保険財政調整基金	422,217	24	17,883	404,358	
公営企業等財政調整基金	39,705	1	2,524	37,182	
高城財産区財政調整基金	36,436	1	3,361	33,076	
土 地 開 発 基 金	22,930	1	1,000	21,931	
計	1,266,076	42,488	253,768	1,054,796	

令和5年度1月補正予算 全事業 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
一般	歳入	14	2	1		財政	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	4	141,275	0
〃	歳出	2	1	7	55	企画	倉吉未来中心周辺環境整備事業	4	19,481	6,981
〃	〃	6	1	3	63	農林	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業	5	40,086	4,828
〃	〃	6	1	3	76	農林	園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業	5	1,635	0
〃	〃	2	1	7	64	福祉	【交付金事業】低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業	6	212,700	71,425

担当課	財政課		施策	28_財政の健全性の確保				
事業名	【歳入】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金						予算説明書ページ	9
補正予算	会計 一般	款 14	国庫支出金	項 2	国庫補助金	目 1	総務費補助金	
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
449,067	141,275	財源内訳	141,275					0
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に基づく、エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を主たる目的とする事業を対象とする交付金。</p> <p>【経過・背景】 令和5年12月22日に令和5年度一般会計原油価格・物価高騰対策及び賃上げ促進環境整備対応予備費の使用が閣議決定され、重点支援地方交付金の増額が措置されたことに伴い、追加交付があることから、補正を行うもの。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 交付金を受け入れ、各事業に充当する。</p> <p>【要求内訳】 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 141,275千円 ※住民税均等割のみ課税世帯分(給付費) 101,800千円 ※住民税均等割のみ課税世帯分(事務費) 2,545千円 ※低所得者の子育て世帯への加算分(給付費) 35,850千円 ※低所得者の子育て世帯への加算分(事務費) 1,080千円</p> <p>※今回計上分は2.1.7.64.1低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業に141,275千円充当</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								

担当課	企画課		施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進				
事業名	倉吉未来中心周辺環境整備事業						予算説明書ページ	10
補正予算	会計 一般	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 7	企画費	
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
66,903	19,481	財源内訳			12,500			6,981
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 令和7(2025)年春に開館する鳥取県立美術館の来場者(年間約20万人)を、倉吉パークスクエア全体に周遊させ、賑わいを創出するもの。</p> <p>【経過・背景】 集いの森(仮称)エリアは、県立美術館から倉吉パークスクエア全体へ人の流れを作る結節点であることから、令和5年11月議会において、倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備基本計画に係る予算が可決された。 令和6年1月に基本計画を策定したことから、実施設計を行うための予算として増額補正するもの。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 令和6年1月に策定した倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備基本計画に基づき、日常的に様々な人々が集まり、交流し、つながっていく「結節点」となる倉吉パークスクエア集いの森(仮称)のランドスケープ工事の実施設計を行うもの。</p> <p>【要求内訳】 委託料 【新規】倉吉パークスクエア集いの森(仮称)整備設計業務委託料 19,481千円 [業務内容] ランドスケープ工事の実施設計 [業務範囲] 県立美術館西側エリア約3,800㎡ [業務期間] 6か月間(R6.1月下旬~R6.7月上旬)</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
【地方債】地域活性化事業債 13,996,058円(起債対象額)×90%≒12,500千円								

担当課	農林課		施策	01_農畜水産業の振興				
事業名	鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業						予算説明書ページ	11
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
107,812	40,086	財源内訳		35,258			4,828	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 県が開発した鳥取型低コストハウスの導入を推進し、高収益なハウス栽培品目の生産振興を図ることにより、強い園芸産地づくりを推進するもの。</p> <p>【経過・背景】 「鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業」は、産地生産基盤パワーアップ計画に沿って実施される事業であり、現在の計画は令和5年度事業までとなっている。 令和5年度事業の実績見込が計画よりも少ないことが見込まれたため、県は11月補正予算において、国費分を令和6年度に繰り越しして実施することとなったため、市においても令和5年度予算として補正を行い、繰り越しを行うもの。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 鳥取型低コストハウス導入に係る経費 (資材費) を支援するもの。</p> <p>【要求内訳】 負担金補助及び交付金 40,086千円 ・鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 40,086千円 事業主体: JA鳥取中央 事業費: 60,129千円×2/3=40,086千円 事業内容: 鳥取型低コストハウスの整備 17棟 (5,002㎡)</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
<p>【県】 鳥取型低コストハウスによる施設園芸等推進事業費補助金 35,258千円 (うち国庫) 資材費相当額51,208千円×補助率1/2=25,604千円 (うち県費) (補助金額40,086千円-国庫25,604千円×補助率2/3=9,654千円)</p>								

担当課	農林課		施策	01_農畜水産業の振興				
事業名	園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業						予算説明書ページ	11
補正予算	会計 一般	款 6 農林水産費	項 1 農業費	目 3 農業振興費				
補正前	補正額 (千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源	
4,270	1,635	財源内訳		1,635			0	
事業の目的・意図								
<p>【目的・意図】 国の生産基盤産地パワーアップ事業を活用し、鳥取型低コストハウス等で栽培する高収益品目の生産性を向上し、園芸品目の導入・拡大を推進するもの。</p> <p>【経過・背景】 「園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業」は、産地生産基盤パワーアップ計画に沿って実施される事業であり、現在の計画は令和5年度事業までとなっている。 令和5年度事業の実績見込が計画よりも少ないことが見込まれたため、県は11月補正予算において、国費分を令和6年度に繰り越しして実施することとなったため、市においても令和5年度予算として補正を行い、繰り越しを行うもの。</p>								
事業の概要 (積算根拠 等)								
<p>【事業内容】 生産資材の導入に要する経費の一部を支援するもの。</p> <p>【要求内訳】 負担金補助及び交付金 1,635千円 ・園芸産地未来づくり産地パワーアップ事業費補助金 1,635千円 事業主体: JA鳥取中央 事業費: 3,270千円×1/2=1,635千円 事業内容: 生産資材 (寒冷紗) 32枚 (6,472㎡) の導入</p>								
主な特定財源 (名称、金額 等)								
【県】 未来づくり産地パワーアップ事業費補助金 1,635千円 (全額国庫)								

担 当 課	福祉課		施 策	10_生活困窮者の自立支援													
事 業 名	【交付金事業】低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業					予算説明書ページ	10										
補正予算	会計 一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費													
補正前	補正額 (千円)	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他	一般財源										
0	212,700		141,275				71,425										
事業の目的・意図																	
<p>【目的・意図】 エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援を行うもの。</p> <p>【経過・背景】 令和5年11月2日に閣議決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に係る重点支援地方交付金を活用し、低所得者支援及び定額減税を補足する給付が実施されることを受け、補正を行うもの。</p>																	
事業の概要 (積算根拠 等)																	
<p>【事業内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・低所得世帯支援給付金：住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯あたり10万円を給付する。 ・こども加算：住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して、同一世帯の18歳以下の児童一人あたり5万円を給付する。 <p>【要求内訳】</p> <table> <tr> <td>負担金補助及び交付金</td> <td>190,000千円</td> </tr> <tr> <td>・低所得世帯支援給付金</td> <td>130,000千円</td> </tr> <tr> <td>算出根拠</td> <td>100千円/世帯×1,300世帯</td> </tr> <tr> <td>・こども加算</td> <td>60,000千円</td> </tr> <tr> <td>算出根拠</td> <td>50千円/児童×1,200人</td> </tr> </table> <p>人件費 9,086千円 (会計年度任用職員2人・15月、時間外手当) 需用費 676千円 (事務用消耗品、封筒印刷) 役務費 2,100千円 (郵送料、振込手数料) 委託料 9,000千円 (システムエンジニア委託費) 使用料及び賃借料 1,838千円 (コピー機使用料)</p>								負担金補助及び交付金	190,000千円	・低所得世帯支援給付金	130,000千円	算出根拠	100千円/世帯×1,300世帯	・こども加算	60,000千円	算出根拠	50千円/児童×1,200人
負担金補助及び交付金	190,000千円																
・低所得世帯支援給付金	130,000千円																
算出根拠	100千円/世帯×1,300世帯																
・こども加算	60,000千円																
算出根拠	50千円/児童×1,200人																
主な特定財源 (名称、金額 等)																	
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 141,275千円																	

令和5年度1月補正予算 主な事業 (千円)

会計	歳入 歳出	款	項	目	大 事 業	担当課	事業名	ページ	補正額	うち一般財源
一般	歳出	2	1	7	55	企画	倉吉未来中心周辺環境整備事業【集いの森（仮称）整備関連】	8	19,481	6,981
〃	〃	2	1	7	64	福祉	【交付金事業】低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業	9	212,700	71,425

担当課	企画課	施策	24_都市と自然・歴史・文化が調和した拠点連携型のまちづくりの推進			
事業期間	令和5年度～令和6年度		区分	拡充		
事業名	倉吉未来中心周辺環境整備事業【集いの森（仮称）整備関連】			予算説明書ページ	10	
補正予算	会計一般	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 7 企画費		
補正前	補正額（千円）	左の 財源内訳	国	県	地方債	その他 一般財源
	7,661	19,481			12,500	6,981

目的・意図

令和7（2025）年春に開館する鳥取県立美術館の来場者（年間約20万人）を、倉吉パークスクエア全体に周遊させ、賑わいを創出するもの。

経過・背景

集いの森（仮称）エリアは、県立美術館から倉吉パークスクエア全体へ人の流れを作る結節点であることから、令和5年11月議会において、倉吉パークスクエア集いの森（仮称）整備基本計画に係る予算が可決された。
令和6年1月に基本計画を策定したことから、実施設計を行うための予算として増額補正するもの。

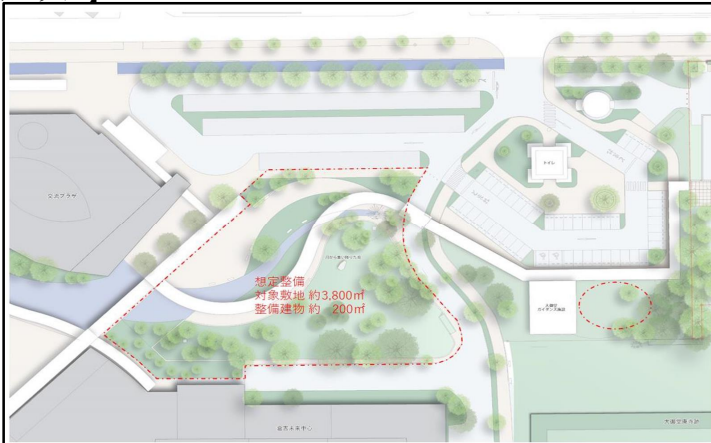
事業効果

- ・集いの森（仮称）エリアの賑わい創出による滞在時間の延長と経済効果
- ・食彩館、倉吉未来中心への動線開拓による経済効果

事業内容

令和6年1月に策定した倉吉パークスクエア集いの森（仮称）整備基本計画に基づき、日常的に様々な人々が集まり、交流し、つながっていく「結節点」となる倉吉パークスクエア集いの森（仮称）のランドスケープ工事の実施設計を行うもの。

【対象エリア】



【スケジュール】

- 設計業務委託料 R6.1月下旬～R6.7月上旬（6か月間）
- 工事発注手続き R6.8月
- 集いの森（仮称）工事 R6.9月～R7.2月（6か月間）

要求内訳

委託料

- 【新規】倉吉パークスクエア集いの森（仮称）整備設計業務委託料 19,481千円
- [業務内容] ランドスケープ工事の実施設計
- [業務範囲] 県立美術館西側エリア約3,800㎡
- [業務期間] 6か月間（R6.1月下旬～R6.7月上旬）

特定財源

【地方債】地域活性化事業債 13,996,058円（起債対象額）×90%≒12,500千円

全体事業費

		全体計画	R6年度（R5繰越を含む）	R7年度	R8年度以降
財源内訳	事業費	242,414	234,753	0	0
	国庫支出金	52,400	52,400	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	106,800	106,800	0	0
	その他	0	0	0	0
	一般財源	83,214	75,553	0	0

担当課	福祉課		施策	10_生活困窮者の自立支援			
事業期間	令和5年度～令和6年度			区分	新規		
事業名	低所得者支援及び定額減税補足給付金給付事業					予算説明書ページ	10
補正予算	会計一般	款	2 総務費	項	1 総務管理費	目	7 企画費
補正前	補正額(千円)	左の	国	県	地方債	その他	一般財源
	0	財源内訳	141,275				71,425
目的・意図							
エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた生活者への支援を行うもの。							
経過・背景							
令和5年11月2日に閣議決定した「デフレ完全脱却のための総合経済対策」に係る重点支援地方交付金を活用し、低所得者支援及び定額減税を補足する給付が実施されることを受け、補正を行うもの。							
事業効果							
生活困窮の回避							
事業内容							
対象世帯に対して、低所得世帯支援給付金及びこども加算を給付する。							
＜基準日＞ 令和5年12月1日							
＜対象世帯＞							
(1) 基準日時点で倉吉市に住民登録のある世帯で、R5住民税均等割非課税世帯給付金(7万円)の給付対象世帯のうち、18歳以下の児童がいる世帯							
・対象見込件数：800人							
・給付額：児童一人あたり5万円(こども加算)							
・支給方法：確認書により指定された口座へ振込							
(2) 基準日時点で倉吉市に住民登録のある世帯で、R5住民税均等割のみ課税されている世帯							
・対象見込世帯数：1,300世帯							
・給付額：1世帯あたり10万円(低所得世帯支援給付金)							
18歳以下の児童がいる場合は、児童一人あたり5万円を加算(こども加算)400人							
・支給方法：確認書により指定された口座へ振込							
＜スケジュール＞							
可能な限り年度内の早期に対象者への通知、口座振込を開始							
要求内訳							
負担金補助及び交付金 190,000千円							
・低所得世帯支援給付金 130,000千円							
算出根拠：100千円/世帯×1,300世帯							
・こども加算 60,000千円							
算出根拠：50千円/児童×1,200人							
人件費 9,086千円(会計年度任用職員2人・15月、時間外手当)							
需用費 676千円(事務用消耗品、封筒印刷)							
役務費 2,100千円(郵送料、振込手数料)							
委託料 9,000千円(システムエンジニア委託費)							
使用料及び賃借料 1,838千円(コピー機使用料)							
特定財源							
【国】物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 141,275千円							
全体事業費							
財源内訳		全体計画	R6年度(R5繰越)	R7年度	R8年度以降		
	事業費	212,700	200,441	0	0		
	国庫支出金	141,275	129,016	0	0		
	県支出金	0	0	0	0		
	地方債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	一般財源	71,425	71,425	0	0		

令和5年度1月補正予算 債務負担行為の限度額の算出根拠

事 項	期 間	限 度 額	算 出 根 拠																								
倉吉春まつり運営委託料	令和5年度 ～ 令和6年度	9,079千円	<p>R6.3月～6月の期間で開催予定の「第50回倉吉春まつり」の運営並びに清掃、交通誘導警備及び公園詰所管理の各業務を委託するもの。 (内訳)</p> <table> <tr> <td>倉吉春まつり運營業務</td> <td>5,031千円</td> </tr> <tr> <td>倉吉春まつり清掃業務</td> <td>1,233千円</td> </tr> <tr> <td>倉吉春まつり交通誘導警備業務</td> <td>2,481千円</td> </tr> <tr> <td>倉吉春まつり公園詰所管理業務</td> <td>334千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>9,079千円</td> </tr> </table>	倉吉春まつり運營業務	5,031千円	倉吉春まつり清掃業務	1,233千円	倉吉春まつり交通誘導警備業務	2,481千円	倉吉春まつり公園詰所管理業務	334千円	合計	9,079千円														
倉吉春まつり運營業務	5,031千円																										
倉吉春まつり清掃業務	1,233千円																										
倉吉春まつり交通誘導警備業務	2,481千円																										
倉吉春まつり公園詰所管理業務	334千円																										
合計	9,079千円																										
博物館特別展開催事業	(変更後) 令和5年度～ 令和6年度 (変更前) 令和6年度	(変更後) 4,826千円 (変更前) 3,911千円	<p>市制70周年を記念して、本市の木である「椿」をモチーフとした美術品の展覧会をあいおいニッセイ同和損害保険株式会社の協力を得て開催するもので、展示監視員の時給単価等の改定及び作品の運搬・展示に係る作業単価等の変更並びに新聞広告の掲出内容見直しに伴い、事業費を増額するもの。</p> <p>【会期】 令和6年3月2日～5月6日</p> <p>【債務負担行為】</p> <table> <tr> <td>報酬(監視員報酬)</td> <td>665千円</td> <td>→</td> <td>716千円</td> </tr> <tr> <td>共済費(社会保険料)</td> <td>8千円</td> <td>→</td> <td>10千円</td> </tr> <tr> <td>旅費(普通旅費等)</td> <td>115千円</td> <td>→</td> <td>115千円</td> </tr> <tr> <td>役務費(広告料)</td> <td>1,007千円</td> <td>→</td> <td>1,777千円</td> </tr> <tr> <td>委託料(運送展示)</td> <td>2,116千円</td> <td>→</td> <td>2,208千円</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>3,911千円</td> <td>→</td> <td>4,826千円</td> </tr> </table> <p>【財源】 入館料 1,600千円 → 2,400千円</p>	報酬(監視員報酬)	665千円	→	716千円	共済費(社会保険料)	8千円	→	10千円	旅費(普通旅費等)	115千円	→	115千円	役務費(広告料)	1,007千円	→	1,777千円	委託料(運送展示)	2,116千円	→	2,208千円	合計	3,911千円	→	4,826千円
報酬(監視員報酬)	665千円	→	716千円																								
共済費(社会保険料)	8千円	→	10千円																								
旅費(普通旅費等)	115千円	→	115千円																								
役務費(広告料)	1,007千円	→	1,777千円																								
委託料(運送展示)	2,116千円	→	2,208千円																								
合計	3,911千円	→	4,826千円																								